

2020年度レベルI(わかば)年間予定表

レベルI目標

- ①看護師としての自覚を持ち、助言を受けながら患者への看護を安全・安楽・確実に実践することができる
- ②報告・連絡・相談しながら、看護チームの一員であるスタッフナースとして自立することができる

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
段階別目標		・病院組織を理解できる	・指導を受けながら、患者に必要な看護が安全安楽に実践できる					
		・社会人、職業人としての自覚をもち行動できる	・指導を受けながら、患者の情報収集ができ、病態生理・治療がわかる					
		・生活環境の変化、職場環境に適應することができる	・指導を受けながら、優先順位を配慮した業務計画をたてることのできる					
		・基本的看護技術、知識を身につけることができる	・指導を受けながらスタッフや他の医療従事者と適切にコミュニケーションをとることのできる					
		入院患者の1日を知り、看護師の仕事がイメージできる						
業務目標		〈日勤業務〉 ・マンツーマン指導のもと患者1人の受け持ちができる	〈日勤業務〉 ・マンツーマン指導のもと複数の患者の受け持ちができる	〈日勤業務〉 ・指導のもと複数患者を担当し日勤業務を実践できる				
		〈シャドー夜勤〉 ・4月中に1回経験できる	〈シャドー夜勤から指導夜勤〉 ・マンツーマン指導のもと夜勤業務ができる	〈指導夜勤から夜勤業務〉 ・指導のもと複数患者を受け持ち夜勤業務を実践できる	〈夜勤業務〉 ・夜勤業務を独り立ちできる			
		集合研修 (項目は『レベルI(わかば)4月研修計画』参照)	・静脈注射(知識編) ・フィジカルアセスメント *研修内容は必ず部署に報告する	・フォローアップ研修① ・救命救急処置技術(BLS)	・静脈注射(技術編) ・12誘導心電図	・感染防止	・救急看護(ショック) ・チームSTEPPS ・褥瘡ミニテスト	
	新人	共通 ★=知識を確認 ○=実践を確認	○バイタルサインを正しく測定できる(血圧、呼吸、脈拍、体温について数値のみで判断せず聴診、触診、視診も確実にこなせる) ○観察したことを記録に残せる	○バイタルサインの異常値がわかり報告できる	-----> *各部署の特殊性に応じた緊急時対応と救急カートの取り扱いについてオリエンテーションを受ける	○呼吸音、呼吸様式から正常、異常を判断できる ○JCSで意識レベルを評価できる ★病棟で急変したときの対応が言える(実践項目は「異常がない」という判断ができるでもよい)	----->	★ショックの5P・4分類を知っている
		OJT OJTポイント	・4月研修の内容を確認し、研修内容を活用した指導を行う ・必ず手本を見せてから、新人に実践させる ・手本を見せる際は、一つ一つの根拠を説明しながら行う	・バイタルサインを正しく測定できているか確認する (脈拍は必ず患者に触れて確認する 発熱時は悪寒戦慄がないかなど基本的な観察も一緒にできるように指導する)	・バイタルサインの数値を確認する際、前日との差や入院経過の中での変化を確認する ・バイタル測定時の患者の状況について確認する (体勢、表情、言動、皮膚の熱感冷感等) ・フィジカルアセスメント研修の内容を臨床で活用することで知識から実践に結びつけられるように指導する	・呼吸、循環、意識についてフィジカルアセスメントできるよう臨床と結びつけながら指導する	・検査データも合わせて患者の状態をアセスメントできるように指導する (検査データは採血だけでなくレントゲンやエコー所見など検査全般)	・「正常である」ということをショックの研修の内容を用いてアセスメントできるように指導する
部署								
プリセプター	指導内容等	・OJT項目を達成できるよう現場教育を行う(OJTポイントを確保)	・フィジカルアセスメント研修の内容を確認し、研修内容を活用した指導を行う	・夜勤までに各部署の特殊性に応じた緊急時対応と救急カート取り扱いと物品説明(院内教育WEBの活用)	・静脈注射技術指導		・救急看護、チームSTEPPSの研修内容を確認し、研修内容を活用した指導を行う	
	研修等	・身だしなみ、接遇について病棟での実際について指導する	・夜勤業務・休日日勤業務オリエンテーション	・「技術項目評価用紙」の6月他者評価	プリセプター研修① 新人へのアプローチ コーチング		プリセプターチェックリスト自己評価	
	コーチ	指導内容等			・プリセプター研修後のサポート ・静脈注射技術指導		プリセプターチェックリスト他者評価	
-----> レベルI、プリセプター研修の内容を把握し研修内容を活用した指導が部署で実施できるよう調整、支援する ----->								
チームメンバー	指導内容等	・レベルI(わかば)4月研修中のチェックリスト&評価表の項目に沿って指導を行う ・感染対策マネージャー、褥瘡ケア委員は4月研修の内容を確認し実践できるよう指導する	・新人が担当する患者のフィジカルアセスメント、看護ケアなどマンツーマンの指導を行う ・OJT項目を達成できるよう現場教育を行う(OJTポイントを確保) ・チーム会等で新人の目標到達度を把握する	・日勤・夜勤ともに新人が担当する患者のフォローと指導を行う ・静脈注射技術指導				
副師長	【1~3月】 ・プリセプター・コーチ選出と決定 ・指導者研修後のサポート ・レベルI(4月)研修計画提示	・病棟オリエンテーション	・新人学習会サポート	・「技術項目評価用紙」の運用基準に沿って、他者評価方法のオリエンテーション ・「技術項目評価用紙」の6月までの自己・他者評価の集計 ・フォローアップ研修後のサポート	・静脈注射研修後の知識確認、技術指導のフォロー ・プリセプター研修後のサポート	・静脈注射技術指導		
指導方法		・業務時間内に振り返りを行う 今日のケアで一番学んで欲しい、習得してほしい内容にポイントを絞る できた(理解した)所、不足した所を確認し、次回どうしたら良いか一緒に考える	・指導に際し、必ず前日までの成果や課題を確認したうえで指導に臨む(指導に一貫性をもたせる) ・報告、相談があったとき、気になる症状がある時は、ベッドサイドに行き一緒に確認する ・振り返りを行う うまくいったこと、成功したこと、できたことについて、なぜうまくできたのかを一緒に振り返る(成功体験を積み重ねる) できなかったところは次回どうしたらできるかを一緒に考える					
会議			プリセプター会	プリセプター会	プリセプター会		プリセプター会	

